



## 旭が丘小学校だより

令和4年9月20日 18号

文責 校長

### <授業参観・懇談会・修学旅行説明会へのご参加に感謝します>

9月12、14、16日の3日間で授業参観が行われました。今回は修学旅行説明会もあるため、低・中・高学年に分かれて実施しました。予想以上の保護者の来校でした。静かに参観いただくなどご配慮をたくさん感じました。感謝申し上げます。特に高学年は、いずれの学年もタブレットを活用した指導となりましたが、現在の学校の状況の一端を見ていただきたい機会だったと思っています。6年生の授業参観後は、修学旅行説明会を実施しました。



### 運動会練習がんばっています

残暑厳しい中、子どもたちは熱中症に注意しながら運動会の練習に励んでいます。今年の運動会の運営については、前回の学校だよりでその概要をお伝えしましたが、短い時間であっても、充実した会にしたいと考えています。暑さ対策として水分補給を頻繁に行



っています。可能な限りお茶等飲み物の準備をお願いいたします。

### 中秋の名月（満月）～令和4年10月4日

今年9月10日の中秋の名月...今年満月が重なったとても幸運な年でした。きっと真ん丸なお月さまを見て心が和まれた方も多かったのではないのでしょうか。

そもそも月はなぜ地球の衛星として存在するのでしょうか？少し固い話になりますが様々な説があります。

- (1) 地球からの分断説...宇宙からの何らかのエネルギーで、地球から分断したという説です。
- (2) 地球捕獲説...漂流する月の塊を地球の引力で引き付けたという説です。
- (3) 地球兄弟説...そもそも地球が誕生する過程で、二つの星ができたという説です。

様々ですが、地球は月に守られてることをご存じでしょうか。月がなかったら...

△潮の満ち引きが無くなり、地球の自転が高速になり、生命がすめなくなる △大気の変動が起き、強風や砂嵐の毎日になる △干潟が無くなり、海の生態系が崩壊する △夜が真の闇になる △地軸の傾きが不安定になり、四季が無くなり、大きな気候変動が起こる △一日の寒暖の差が極端に大きくなる △巨大隕石が地球に突入しやすくなる などで。月に感謝ですね。ある映画では月が人工物として登場していました...

### ○一部日課の変更、スタートします○

先日よりお話しています日課の変更について再度確認をお願いします。本校では学習の確かな定着をめざして、モジュール（単位時間の学習を細かく切って指導を展開すること）を取り入れた学力対策をスタートさせます。9月20日の週から（運動会の練習の関係で実際は26日からとなります）下校時間が若干変わりますのでご注意ください。学童や放課後ディサービスへの連絡をお願いします。

## ～登校時の課題～

先日、保護者の方、そして地域の方から次のような2つのお話をいただきました。

一つ目は、登校時の車の送迎についてです。旭が丘ストア様横の坂を、朝から多くの車両が子どもを乗せて通っている、とのお話をいただきました。そのことで、歩いている子どもにとって危険な状況も少なくないとも言われていました。特に理由があって送迎をされる場合もあります。しかし基本的に徒歩で登校するようお願いしたいと思います。日々の歩きで、基本的な体力を身に付けさせる大きな意味合いもあります。特別な場合を除き、歩いてくるようご協力ください。

二つ目は、旭が丘ストア様横の坂を、朝から慌てて走ってきたため、転んでけがをする子どもが多いということです。確かに昨年度は4人、今年も2人が転んでけがをしています。この坂は路面の状態もあまりよくなく、転んだらけががしやすい状況でもあります。慌てず登校すること、走らないことを学校でも指導します。限定された箇所ですが、以上2点が登校時の課題です。子どもたちにも放送で歩いてくること、坂道を走らないことについて指導をしています。



## P T A 清掃活動、ありがとうございました！

9月17日(土)にP T Aの清掃活動がありました。台風到来前でご心配な中だったと思いますが、環境部の方々のお世話で、今年も何とか実施できました。特に運動場周辺の側溝の掃除は大変だったと思いますが、とてもきれいになり、直後の台風にもしっかり備えることができました。ありがとうございました！

## ちよっと横道…「相貌心理学」

世界には様々なものを対象にする学問があり、研究があります。

その一つに、フランスを発祥とする「相貌心理学」<sup>そうぼう</sup>があります。

これは、顔のつくりや状態で、自分を知り相手を知る心理学です。最近私は鏡で自分の顔を見て、何だかさえない表情に落胆しました。たまたま購入していた本に顔の話があったので、どうしようかと読んでみたら面白いことが書いてありました。

そもそも顔は生まれ持ったもので、生まれてからある時期まではだれもが「天使の顔」です。しかしその後の経験や考え方、成長とともに、より輝く人もいれば、そうでない人もいます。それは整形で良くなるものでもないようです。あくまで内面から醸し出されてくるもののようです。

この研究では、顔に人のすべての情報があらわれているとされています。体力量、コミュニケーションの欲求量、実行力、想像力、共感力、思考の速度、寛容性や順応性、伝える力、感受性、自己制御力、野心や独立心、モチベーション、等…。一方、日本には顔に関する慣用句が多くあります。例えば、顔色をうかがう、顔が売れる、顔が立つ、顔が広い、顔から火が出る、顔向けできない、顔を出す、顔に泥を塗る、合わせる顔がない、何食わぬ顔、仏の顔も三度まで、等…。更に、この相貌心理学では、顔はコミュニケーションの要、人間関係の要、自己実現のバロメーターとされています。

私たちの顔・表情が、生きることや人とのつながりに大きく影響を及ぼしていることは間違いありません。少しドキッとしますね。詳しくは「相貌心理学」<sup>そうぼう</sup>について調べて見られてください。

☆18日～19日の台風到来で被害等はなかったでしょうか。学校は体育倉庫横の石灰室の屋根が壊れたことと、つつじが一本折れましたが大きな被害はありませんでした。まだまだ続きますかね…台風

